



里親支援の取り組みについて

中央児童・障害者相談センター 児童福祉司（里親専任） 坂野 早奈美

はじめに

平成28年度の児童福祉法の改正を受けて国が示した「新しい社会的養育ビジョン」において、家庭での養育が困難な子どもは、できる限り家庭的な環境である里親に委託して養育されることとなりました。里親等委託推進において、里親支援は重要なテーマです。

愛知県でも里親支援体制の強化を目指し、一層の充実を図っています。今回は、里親支援に焦点を当て、現状と課題について述べたいと思います。

なお、里親制度については、朋10号にて風の色の野村里親支援専門相談員によって説明されているため、そちらをご覧ください。

里親への支援（愛知県内、名古屋市を除く）

愛知県児童（・障害者）相談センター

子どもの担当見相、里親の担当見相の他に、平成30年度より県内2人ずつ里親等委託調整員、里親等相談支援員、心理訪問支援員を配置（中央見相、西三河見相）しています。

国が示す「里親委託ガイドライン」では、「里親等委託調整員は、里親支援事業全体の企画及び里親と乳児院等児童福祉施設、関係機関との円滑な調整、自立支援計画作成等を行い、または児童相談所の里親担当職員を補助して、地域の里親委託及び里親支援を推進する」里親等相談支援員は、「現に子どもを養育している里親や、レスパイト・ケアなど短期間子どもを養育している里親からの相談に応じるとともに、里親家庭を定期的に訪問し、子どもの状態の把握や里親への指導等を行う」心理訪問支援員は、「里親等へ委託された子どもであって、虐待等により特に専門性の高い支援が必要とされる子どもに対して、心理面からの訪問支援を行う」とされています。

乳児院・児童養護施設

国が示す「里親委託ガイドライン」では、里親支援専門相談員は、「子どもと里親の側にとって里親委託の推進と里親支援を行う専任の職員」「児童相談所の里親担当職員や里親等委託調整員と分担連携して、定期的な家庭訪問を行うほか、施設機能をいかした支援を含め、里親支援を行う。また、児童相談所の会議に出席して情報と課題を共有する」とされています。令和元年度現在、里親支援専門相談員を10人（10施設より1人ずつ）配置しています。

支援内容

家庭訪問

委託前の支援として、里親養育サロンや研修にお誘いし、委託に向けた意向の確認を行っています。委託後は、定期的に家庭訪問をし、子どもと里親の状況確認を行い、必要な支援につなげています。

里親サロン

里親が児童相談センターに集い、里親支援専門相談員や見相職員等の助言や里親相互の交流により、里親の精神的負担の軽減と養育技術等の向上を図っています。

平成30年度は225回開催しました（各見相で月2回～3回開催。ただし、新城設楽見相は東三河見相サロンに参加）。参加里親数は、延べ1,883人でした。

また、年6回（奇数月）サロン通信を発行し、サロンでの様子ははじめ里親に関するさまざまな情報を発信しています。

里親ヘルパー

里親宅訪問による生活援助（家事や養育の補助など）や相談援助を行っています。



平成30年度は、51件、169.3時間実施しました。

里親の研修

里親やファミリーホーム関係者を対象に、里親相互の交流を図るとともに、各見相の職員等が中心となりテーマに沿った話題提供を行い、そのことについて里親等が経験等を共有しました。

レスパイト・ケア

里親の一時的な休息のための支援で、里親が必要とする場合に、委託児童を一時的に乳児院、児童養護施設等又は他の里親に預けます。

平成30年度は、51件、116日実施しました。

里親サポーター

令和元年度7月より実施された新事業です。里親制度の普及啓発や里親を応援してくれる方を増やすことを目的としています。愛知県主催する「里親養育体験発表会」後に行われる里親サポーター養成講座に参加することで登録できます（登録者は名古屋市を除く愛知県にお住まいの方）。里親啓発イベントでの啓発やヘルパー、託児等の活動を行います。

おわりに

これらの他に、里親会や市町村等の関係機関との連携した取り組みや、里親支援専門相談員を中心とする

各施設が企画する里親支援のための研修等も行われています。

「里親」と一くりに言っても、里親の種別（養育里親、専門里親、養子縁組里親、親族里親）の違いがありますし、委託待ちの里親、委託に向けてマッチングを開始したばかりの里親、委託を受けて日が浅い里親、長期養育中の里親等、状況も異なります。必要な支援内容はそれによってさまざまです。また、当然里親も子どもそれぞれ個性があるため、画一的ではない、その時々状況に応じた適格な判断と相応の支援が求められます。

ご承知のとおり社会的養護が必要な子どもたちはさまざまな事情を背負いながら未来に向けて生きています。子どもたちの背景を含めて丸ごと受け入れ、24時間365日養育する里親は、子どもたちにとっては大きな支えであります。家族として信頼関係を築いていくことの道のりの長く、その道のりの過程で、不調を起こしてしまうことは珍しくありません。

子どもたちが安心安全な環境で豊かに成長するために、私たちはますます里親支援に力を注ぐ必要があります。見相は子どもと家庭に関する情報をもとに処遇を決定する業務があり、施設職員には社会的養護が必要な子どもたちの養育技術や経験、知識等があります。里親会には、当事者同士だからこそ分かり合えることがあります。それぞれの専門性をいかしながら、里親委託の推進や里親支援の充実を共に目指していけたらと思います。

里親の研修開催実績（平成30年度）

日にち等	内 容	対象里親	講師等	場所	参加人数(人)
平成30年 5月21日(月)	心を穏やかに育てるには～親子関係がうまくいくために～	養育	安藤心理訪問支援員	三の丸庁舎	16
平成30年 6月10日(月)	家族との交流・家族療法対し里親ができること	養育	榎木里親等相談支援員	西三河総合庁舎	14
平成30年 7月 8日(日)	お父さんのための里親サロン～真実告知やループ探しについて考えよう～	里父	林心理司	名古屋都市センター	24
平成30年 7月13日(金)	社会に出るために、希望親と人がやるべきこと	養育・養子	青島支援コーディネーター	三の丸庁舎	20
平成30年 9月14日(金)	発達の遅い子どもさんへの理解について	養育・養子	安藤心理訪問支援員	西三河総合庁舎	14
平成30年10月 2日(火)	幼児期・小学生からの子育て～親として子どもと関係を築くために～	養育・養子	榎木・柴田里親等相談支援員	西三河総合庁舎	18
平成30年10月31日(木)	乳幼児の子育てで気を付けたこと	養育・養子	丹羽保健師	三の丸庁舎	7
平成30年11月20日(火)	言葉の遅れが気になる子どもさんへの支援	養育・養子	安藤心理訪問支援員	三の丸庁舎	5
平成30年11月29日(木)	短期子どもを預かるということ～週末里親と一時保護委託～	養育	榎木・柴田里親等相談支援員	西三河総合庁舎	37
平成30年12月10日(月)	真実告知・ループ探しについて考えよう～週末里親と一時保護委託～	養子	柴田里親等相談支援員	三の丸庁舎	40
平成31年 1月14日(木)	施設療育実践の紹介	養育	梅ヶ丘学園長	梅ヶ丘学園	24
平成31年 2月 8日(金)	思春期の発達と行動上の課題について	養育	浅野心理司	三の丸庁舎	20
平成31年 2月 8日(金)	8946施設付 学校に行けなくなった子どもをどうするか。少し違う、目を考えるために～	養育・養子	安藤心理訪問支援員	三の丸庁舎	13
平成31年 2月10日(日)	お父さんのための里親サロン～子どもの成長や発達について学ぼう～	里父	林心理司	愛知県文化センター	19
平成31年 3月 1日(金)	真実告知について考えよう～養育里親としての伝え方と受け入れなければならない事～	養育	柴田里親等相談支援員	西三河総合庁舎	15
					286